



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校

令和7年 6月19日

第6号 文責：亀 丸

がんばったロードレース大会

6月5日に校内ロードレース大会が行われました。暑くもなく寒くもなくさわやかな天候のもと実施することができました。本番までの間子ども達は、業間時間や昼休み等を利用してマラソンに取り組みました。「今年は〇位になりたい」といった目標をもって練習する姿が見られました。

当日、見学する児童は数名いましたが、参加した児童は最後まであきらめることなく走り続けることができました。これからの社会を強くたくましく生き抜いていくためには、困難に直面しても最後まであきらめずにやり遂げる力を身につけることが不可欠だと言われています。あきらめずにやり遂げる経験を学校でも積み重ねていきたいと思います。走り終えた子ども達はとてもいい表情をしていました。中には順位に納得できず悔しがる子もいました。結果に納得できずに悔しがることはとても大切なことです。その悔しさをばねにさらに努力を重ね、次回頑張ってもらいたいと思います。

ロードレース大会の実施にあたり一本木駐在所の山田所長、交通指導員の皆様には、コースに立っていただき安全確保と見守りをしていただきました。今年度も事故なくロードレース大会を実施することができました。ご協力に感謝いたします。

また、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。皆様のあたたかいご声援のおかげで子ども達は最後まであきらめずに走ることができました。ありがとうございました。



思い出深いグリーンキャンプ

6月12日(木)・13日(金)に5年生がグリーンキャンプに出かけました。国立岩手山青少年交流の家に宿泊しました。2日間天気に恵まれ、雨の心配をすることなく、予定していた活動をすべて実施することができました。

1日目、8時30分に学校を出発しました。今年度は児童数が多いので貸し切りバスで移動しました。20分程度の移動時間でしたが、バスレクをして過ごしたそうです。

最初の活動は鞍掛山登山です。相の沢キャンプ場から標高897mの山頂を目指します。今年度も民生児童委員の角掛祐美様に先導していただきました。途中何度か休憩を挟み、みんな無事に山頂に立つことができました。大きく遅れる子もなく、みんなまとまって山頂に立つことができました。岩手山山頂付近に雲がかかっていて少し残念でしたが、一本木を含むすそ野の景色や、姫神山等周りの山々の景色を楽しむことができました。

20分ほど早く下山し、相の沢キャンプ場でゆっくりと昼食をとりました。下山は1度も休憩することなく歩き通しました。気温が高かったせいもあり、水筒やペットボトルの飲料がどんどん減っていきました。



少し早めに入所し、荷物整理とベッドメイキングを済ませた後、最初の活動「石像ウォークラリー」を行いました。石像のごく一部を拡大した写真をヒントに、所内にある13の石像をまわりながらクイズの文章を完成させるものです。1時間かけてゆっくり石像の題名を確認しながら巡れば

よいのですが、そこは子ども達、いかに早く13の石像をコンプリートするかに躍起になっているグループが多かったです。



夕食はバイキング形式でした。副菜が4品でサラダもしっかりあり、とてもボリュームミーな夕食でした。何とカレーをかけてもOKでした。主食のサケフライ以外はおかわりできるので、ご飯も含め何度もおかわりしている子もいました。次の日の朝食はご飯とパンが用意されていました。ご飯とパンの両方を食べる子もいました。

1日目最後の活動は、キャンプファイヤーでした。夕食の前に内村教諭の指導のもと、キャンプファイヤーの井桁型を組みました。上下でずらして組んでいくなどとても上手にできました。

少しずつ辺りも暗くなってきたところでいよいよ本番。火の神様から「協力の火・全力の火・思考の火」の3つの火を授かった代表の子が、その火を井桁に点火しました。火の神様からは、「火は人間だけがその使い方を授かった大切なもので、人間の命と生活にとっても重要なものであること、その一方で使い方を誤ると人の命を奪い、自然や国を破壊に導く恐ろしいものにもなること、これからも正しくそして大切に火を使うこと」が話されました。赤々と燃える炎を囲みながら班の出し物やフォークダンスを楽しみました。班の出し物は劇でした。役になり切っておもしろおかしく演じる子ども達でした。榊副校長、伊藤教諭、笹谷教諭、西野教諭も交流の家に駆け付けてくれました。フォークダンスと一緒に踊るなど、キャンプファイヤーを盛り上げました。



2日目もとてもいい天気でした。2日目の活動は野外炊事です。もちろんメニューはカレーライスです。指導員の方の説明を聞き、いよいよ調理開始です。調理担当の子ども達は、具材の皮をむいたり切ったりするのがとても上手にできていました。きっと家でもたくさんお手伝いをしているのではないのでしょうか？何よりも大きさがそろうように切っているところがよかったです。お米を研ぐ子ども達は時計を見ながら給水時間を確認していました。水加減もばっちりでした。かまどの火を管理する子ども達は、全員1回で火をつけることに成功しました。途中で火が消えてしまうかまどもほとんどなく、順調に調理をすることができました。薪をくべるタイミングがとても上手でした。

でき上がったカレーは濃さやとろみもちょうどよく、ご飯はおかゆになることもなく、どの班も完璧なカレーライスができました。4つの班の試食をさせてもらいましたが、甲乙つけがたいできでした。お腹がいっぱいになるまでおかわりをしました。中には他の班のカレーを試食する子もいました。もちろんすべての班が完食でした。片付けも手際よくできたので、少し時間の余裕ができました。短時間でしたが草むらで遊んだり、南部曲り家の中で涼んだりしました。思い出深い2日間を過ごすことができました。

